

まちなか循環バスぶらりん号

白田 千恵子さんに聴く

1939年に樺太で生まれ、1948年9月に喜多方へ移住。喜多方商工高等学校商業科を卒業後、会津バス喜多方営業所に入社し、バスガイドとして勤めてきた。ガイドの中でも会津全域の観光ガイドができる数少ない存在であった。
長男家族は東京在住。夫は他界し、現在は、次男夫婦と孫の4人暮らし。市内循環バスぶらりん号のガイドとして活躍中。



ぶらりん号



運行期間 4月6日から11月30日までの土、日、祝日運行

料金

1日乗り放題 大人500円 子ども300円
1回乗車 大人200円 子ども100円

詳しくはこちらの紹介ページをご覧ください。

樺太でお生まれになったとのことですが、喜多方とは何か縁があったのですか。

終戦後に樺太から引上げを余儀なくされたとき、当時の松山村では引き上げ住宅を整備し、受け入れてくれました。それ以来、喜多方が好きになり定住しています。

バスガイドになったきっかけは何ですか。

中学・高校ともに陸上部に所属し活発な性格でした。また、人と話すことが大好きだったので、担任の先生に勧められてバスガイドになりました。

ぶらりん号は、大好きな喜多方でバスガイドの経験を生かせると思い志望しました。

ガイドの業務で感じる喜多方の魅力は？

喜多方の観光名所は、教科書に載っているような有名なものはありませんが、一つ一つ成り立ちを説明すると、とても興味を持ってもらえます。観光地として有名になった諸説もあり、知れば知

るほど面白い街です。

男女共同参画社会づくりは、何が大切だと思いますか。

自分の能力を生かせる職場があれば、誰でも活躍できると思います。あとは、お互いを思いやる心があればいいと思います。

ぶらりん号の運転手は6人いますが、その日のコンビで話し合い、楽しく業務に当たっています。



愛するぶらりん号をバックに
バスガイドの白田さん・運転手の要さん

風評被害・人口減少などたくさん課題に対応していくためには、どんなことが必要だと思いますか。

私自身は、観光客の皆さんに存分に楽しんでもらうために新しい情報も取り入れ、常に笑顔を保ちたいです。これ

からは観光以外にも喜多方の魅力を発信できたらいいですね。

ぶらりん号のPRをお願いします。

文化財を巡るバスなので、観光客だけでなく、市内の児童・生徒の皆さんにもぜひ乗っていただきたいです。長床がある熊野神社は、国や県・市指定の文化財の宝庫です。知恵を授けるといいう文珠様など、自由研究にもお勧めです。

今後の抱負を教えてください。

元気で楽しく生活していくためには、健康で仕事にやりがいを持つて生きること。お客さまとの会話と笑顔からパワーをもらっています。首都圏からのリピーターも増えているので「楽しかった。また来るね」と多くの方に言ってもらえるよう、さらに喜多方のPRに努めます。

取材内容は市ホームページにも掲載しています。

問 企画調整課 企画調整班
☎(24)5209